

脳動脈瘤に対して血管内治療での治療歴がある

患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

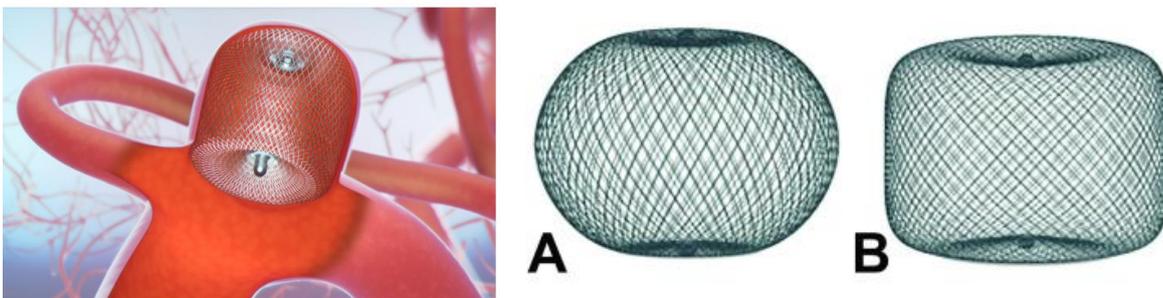
【研究課題名】

WEB留置術による血管内治療を行った脳動脈瘤の治療後塞栓状態を評価する画像検査としてのSilent MRAの有用性

【研究の背景と目的】

脳血管内治療で使用されている新規脳血管内治療デバイスであるWEB（下図参照）は、瘤内に直接留置することで瘤内への血液の流入を阻害し、瘤内の血栓化を引き起こすことができる形状記憶合金の細かい網目状の袋で、単体の留置で治療が終了することが多く、従来のコイル塞栓術よりも簡便で手術時間の短縮につながるデバイスです。

WEBを瘤内に留置した後の動脈瘤の状況を調べる画像検査は、現在脳血管撮影が一般的とされていますが、脳血管撮影の危険性として、放射線被曝、造影剤使用によるアレルギーや腎機能の悪化、カテーテル検査による血栓塞栓症などが挙げられ、頻回な検査には向いていません。そこで、当院では非造影MRAであるSilent MRAという検査法に着目し、血管造影と通常のMRA検査と並行してWEB留置後の動脈瘤における塞栓状態を調べています。しかしながら、Silent MRAが造影検査と同程度に正確な評価ができるのかまだわかっていません。今回の研究ではSilent MRAが有用な評価方法になるかをWEB留置による治療を行った患者さんのカルテを調査して検討します。



Arthur AS, et al. J Neurointervent Surg 2019;11:924-930.)

【対象となる方】

2024年6月1日から2024年9月30日までの期間に当院にて脳動脈瘤に対して初めてWEB留置を行い、治療後半年の画像検査としてMRA、Silent MRA、脳血管撮影の全ての検査を受けた20歳以上の方です。

【使用する診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

患者さんの基本情報：年齢、性別、高血圧の有無、糖尿病の有無、高脂血症の有無、喫煙の有無、術前の抗血小板薬の服薬内容、VerifyNowの結果
動脈瘤の状態：動脈瘤の部位、動脈瘤の状態（未破裂あるいは破裂）、動脈瘤の最大径、動脈瘤のネック径、動脈瘤のdome-neck ratio
手術の情報：手術日、治療中の合併症、使用したWEBのサイズ
WEB留置後の追加治療（コイル塞栓、ステント留置）の有無
術後6ヵ月の動脈瘤の塞栓状態：評価日、評価方法（MRA、Silent MRA、脳血管撮影）
動脈瘤の塞栓状態

【研究期間と参加予定人数】

この研究は病院長の許可日（2024年10月4日）から2025年9月30日まで実施され、7名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。
また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究で得られた情報を、脳神経外科関連学会や医学雑誌などに発表させていただくことがありますが、この場合であってもあなたの名前や個人を識別する情報は一切公表されません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 滝川知司（准教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 担当者：成合康彦（病院助教）

電話番号：048-965-8682（医局直通） 受付時間（平日のみ）：9:00 ～ 14:00

以上